

2020年5月28日
東証1部：2764

2020年3月期（第38期） 決算補足資料

株式会社 ひらまつ

業績報告

連結業績要約

当期は、レストラン、ブライダル、ホテルのいずれにおいても度重なる自然災害の発生や競争の激化、低価格志向、労働力の不足等の影響による厳しい経営環境が続きましたが、様々な施策効果により、第3四半期後半から徐々に回復の兆しが見え始め、第4四半期当初においては、ほぼ修正予想通りに推移いたしました。

2月中旬頃からの新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛、及びイベント等の中止要請の影響を受け、多くの婚礼延期に加え、パーティや法人接待など多数のキャンセルが発生したことにより、最終的に売上高、営業利益、経常利益共に修正予想を下回る結果となりました。

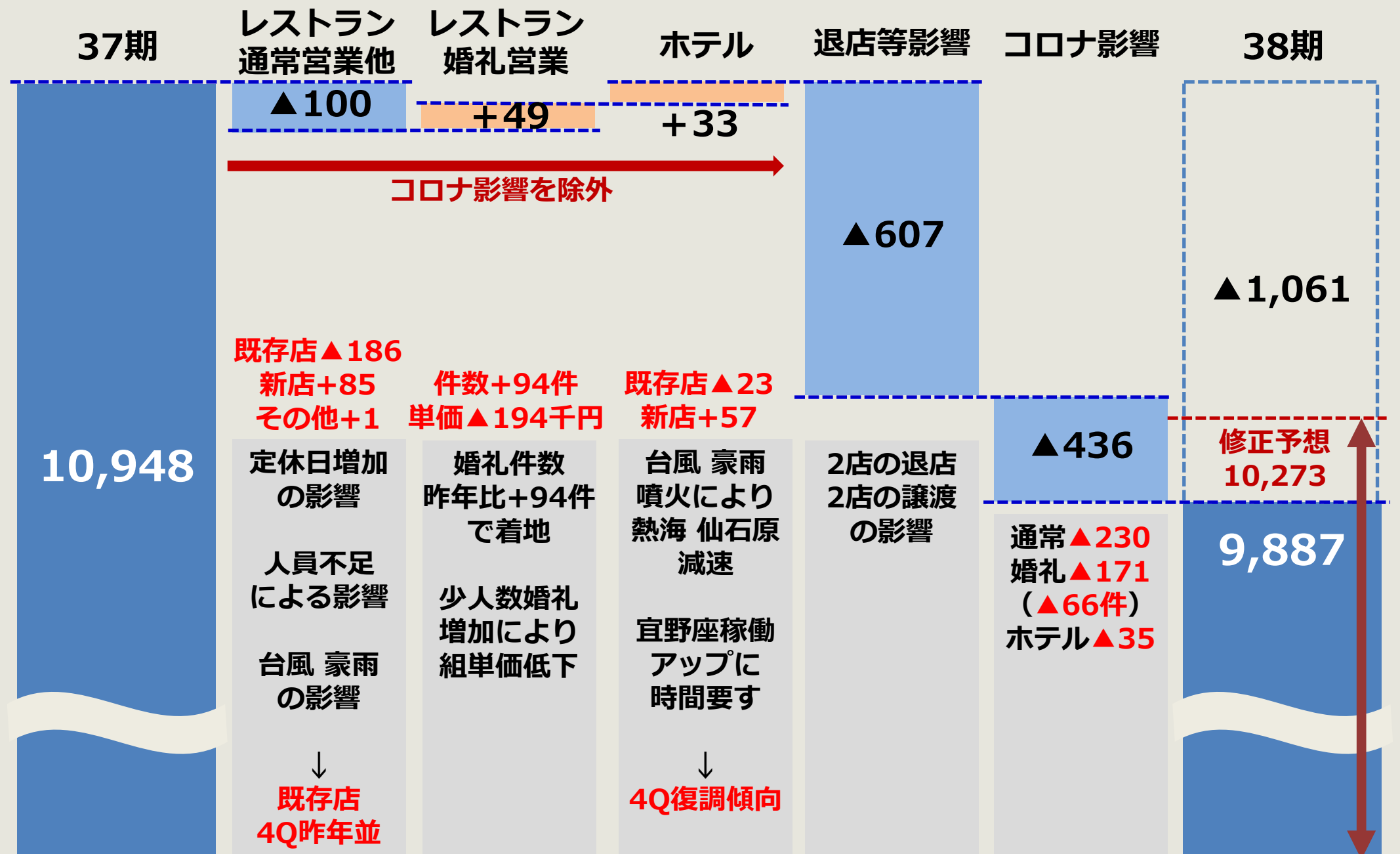
また、第3四半期連結累計期間において計上した減損損失に加え、足元の新型コロナウイルス感染症拡大の影響も含んだ将来の回収可能性を検討した結果、減損損失は、合計9店舗に対して1,975百万円となりました。

(単位：百万円)

	2019年3月期 (37期)		2020年3月期 (38期)		昨対差	修正 予想差
		構成比		構成比		
売上高	10,948	100.0%	9,887	100.0%	▲1,061	▲386
営業利益	740	6.8%	▲24	▲0.2%	▲765	▲205
経常利益	663	6.1%	▲39	▲0.4%	▲702	▲186
当期純利益	75	0.7%	▲1,953	▲19.8%	▲2,029	▲449
1株当たり純利益 (円)	3.00	-	-	-	-	-

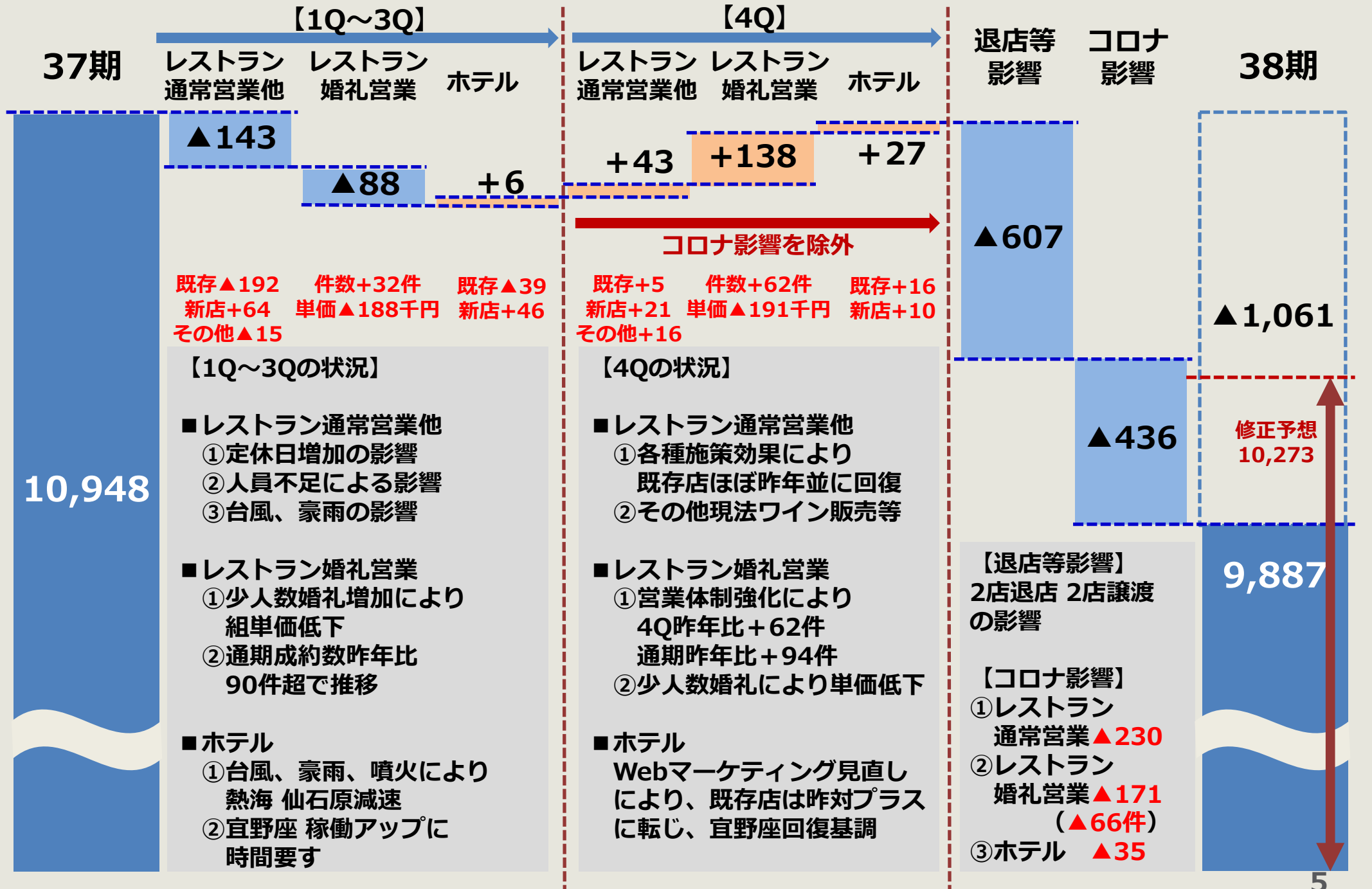
売上の主な変動要因①

単位：百万円



売上の主な変動要因②

単位：百万円



【1Q~3Q】

既存▲192 件数+32件 既存▲39
 新店+64 単価▲188千円 新店+46
 その他▲15

【1Q~3Qの状況】

- レストラン通常営業他
 - ① 定休日増加の影響
 - ② 人員不足による影響
 - ③ 台風、豪雨の影響
- レストラン婚礼営業
 - ① 少人数婚礼増加により組単価低下
 - ② 通期成約数昨年比90件超で推移
- ホテル
 - ① 台風、豪雨、噴火により熱海 仙石原減速
 - ② 宜野座 稼働アップに時間要す

【4Q】

既存+5 件数+62件 既存+16
 新店+21 単価▲191千円 新店+10
 その他+16

【4Qの状況】

- レストラン通常営業他
 - ① 各種施策効果により既存店ほぼ昨年並に回復
 - ② その他現法ワイン販売等
- レストラン婚礼営業
 - ① 営業体制強化により4Q昨年比+62件 通期昨年比+94件
 - ② 少人数婚礼により単価低下
- ホテル

Webマーケティング見直しにより、既存店は昨対プラスに転じ、宜野座回復基調

退店等影響
 コロナ影響

▲607

▲436

【退店等影響】
 2店退店 2店譲渡の影響

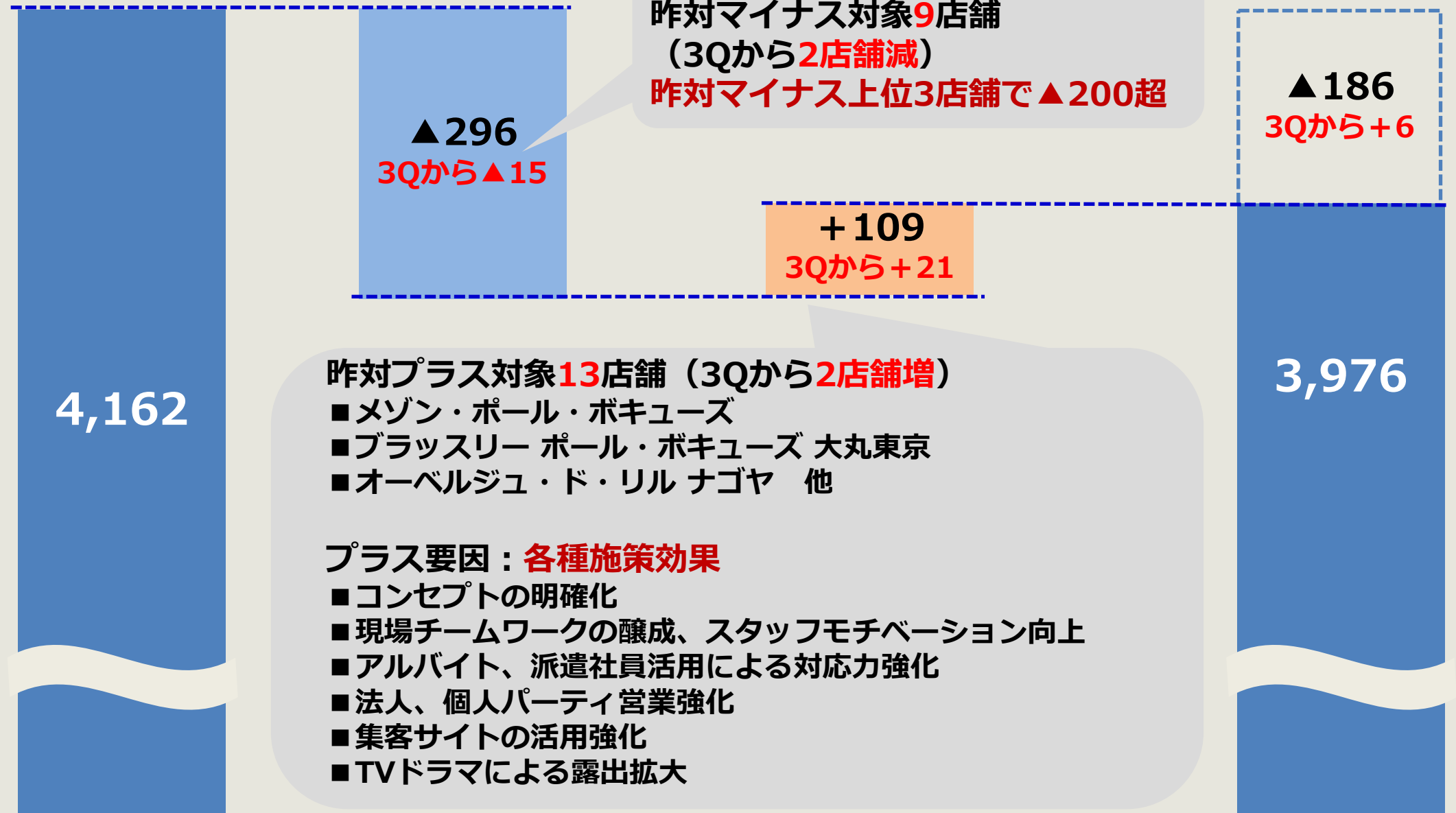
【コロナ影響】
 ① レストラン 通常営業 ▲230
 ② レストラン 婚礼営業 ▲171 (▲66件)
 ③ ホテル ▲35

レストラン（通常営業）既存店売上の動向

単位：百万円

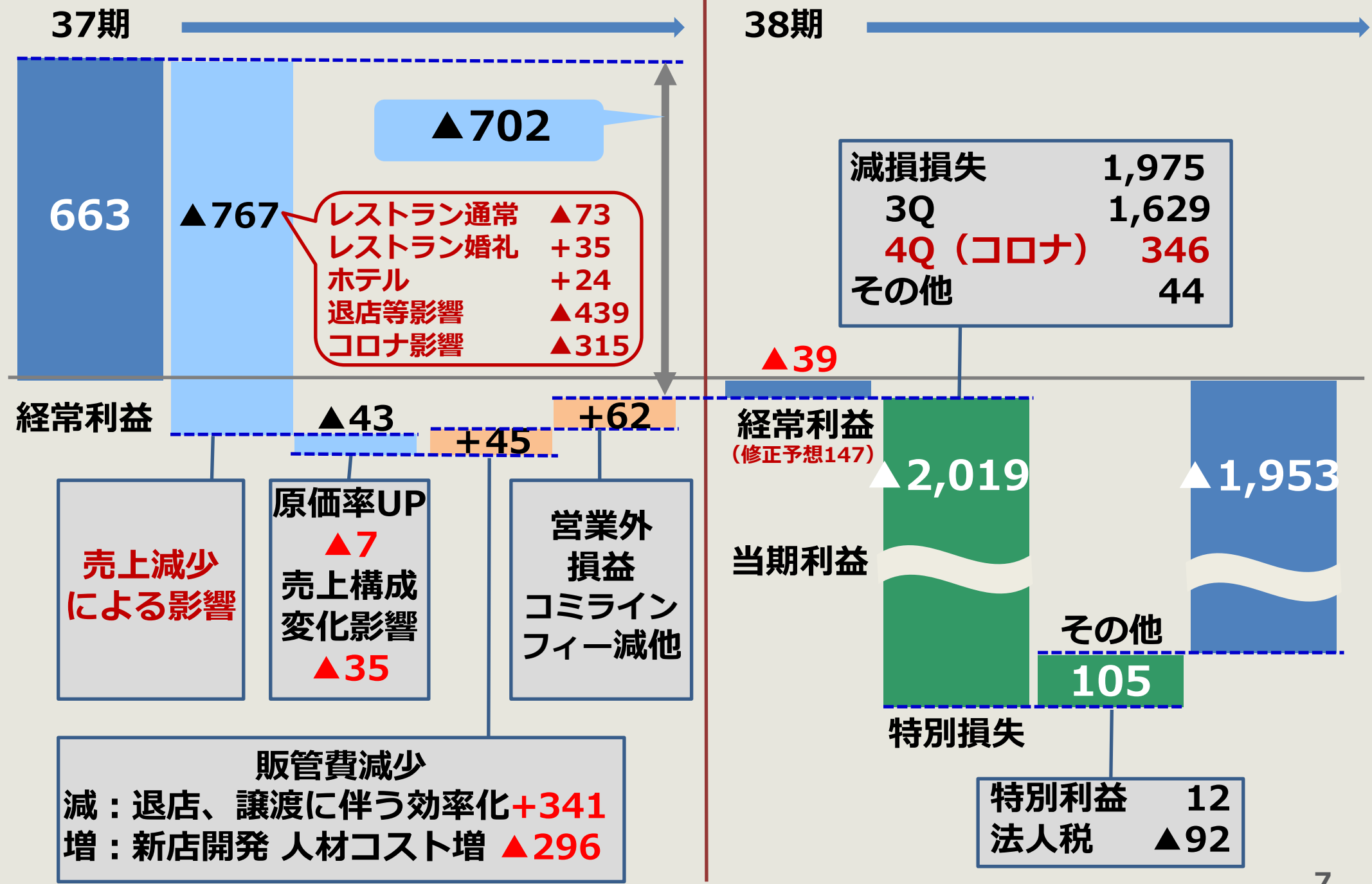
37期3Q+1月

38期3Q+1月



利益の主な変動要因

単位：百万円



減損損失について

第3四半期において、8店舗の減損損失を計上するとともに、繰延税金資産の取り崩しを行いました。その後、2月中旬頃からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛要請により当社の売上に重要な影響が生じ、更に4月の政府による緊急事態宣言発出後は、政府及び地方自治体からの各種自粛要請を受け、全てのレストランを原則休業としております。

これらの新型コロナウイルス感染症拡大の影響も含んだ将来の回収可能性を検討した結果、追加で減損損失を計上するに至りました。

店舗数	減損額	備考
9店舗	1,975百万円	8店舗1,629百万円について第3四半期に計上 コロナの影響により対象店舗1、減損額346百万円を追加

■ 来期以降の減価償却への影響

来期の減価償却費は約138百万円減少する見込み

■ 今後の対策

今後の投資計画に関しては、2019年8月に締結したアドバンテッジアドバイザーズ株式会社との事業提携契約に基づき、同社とのプロジェクトチームの下で投資回収計画を精査し、再発防止に向け対策を進める

連結貸借対照表 要約

総資産は281百万円減少し、21,592百万円となった。

(単位：百万円)

	2019年3月期 (37期)	2020年3月期 (38期)	増減
総資産	21,873	21,592	▲281
現預金	7,115	4,631	▲2,484
売掛金	519	315	▲203
有形固定資産	9,436	11,926	+2,489
負債	12,218	14,001	+1,783
有利子負債	10,315	12,073	+1,758
純資産	9,655	7,590	▲2,064
利益剰余金	8,652	6,568	▲2,083
自己資本比率	43.7 %	34.6 %	▲9.1%
ROA (総資産経常利益率)	3.0 %	▲0.2 %	▲3.15%
ROE	0.8 %	▲26.1%	▲26.91%

POINT

総資産

現預金2,484百万円減少

売掛金203百万円減少

有形固定資産2,489百万円増加

負債

有利子負債1,758百万円増加

純資産

利益剰余金2,083百万円減少

連結CF計算書要約

営業CFは689百万円となった。

新規出店等のための有形及び無形固定資産の取得等による支出の一方で、社債発行及び長期借入による調達と返済の結果、期末現金残高は4,631百万円となった。

(単位：百万円)

	2019年3月期 (37期)	2020年3月期 (38期)
税金等調整前四半期純利益	267	▲2,046
減損損失	-	1,975
減価償却費	684	579
営業キャッシュフロー	754	689
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲2,585	▲4,916
敷金及び保証金の返還による収入	57	151
投資キャッシュフロー	▲2,202	▲4,781
社債の発行による収入	-	2,980
長期借入れによる収入	4,000	2,400
長期借入金の返済による支出	▲3,689	▲3,508
財務キャッシュフロー	▲843	1,607
現金及び現金同等物期末残高	7,115	4,631

POINT

営業キャッシュフロー

- ①税金等調整前当期純損失▲2,046百万円
- ②減損損失1,975百万円
- ③減価償却費579百万円

投資キャッシュフロー

- ①有形及び無形固定資産の取得により4,916百万円支出
- ②敷金及び保証金の返還により151百万円取得

財務キャッシュフロー

- ①社債の発行により2,980百万円の取得
- ②長期借入れにより2,400百万円の取得
- ③長期借入金の返済により3,508百万円の支出

連結業績予想

新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、外出自粛等による消費支出の減少が深刻の度を増しており、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

さらに、政府・自治体からの要請ならびに入居する商業施設の運営方針によっては店舗の休業が長期化する可能性もあるなど、事態の収束とその後の回復には不確定要因が多いことから、現時点では業績予想を数値で示すことが困難であります。

業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

(単位：百万円)

	2020年3月期（38期）実績		2021年3月期（39期）		前期比
		構成比		構成比	
売上高	9,887	100.0%	-	-	-
営業利益	▲24	▲0.2%	-	-	-
経常利益	▲39	▲0.4%	-	-	-
純利益	▲1,953	▲19.8%	-	-	-
1株当たり純利益（円）	-	-	-	-	-

配当方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営課題の一つとして位置付け、今後のレストラン、ホテル事業推進のための設備投資、及び企業体質強化のための内部留保を勘案したキャッシュ・フロー重視の経営を目指しつつ、業績に裏付けられた成果の配分として、配当性向30%を目処とした配当を基本方針としております。

しかし、当期において減損損失を計上したことに加え、現在の事業環境や業績を勘案し慎重に検討いたしました結果、通期配当予想を誠に遺憾ながら見送らせて頂くことといたしました。

	2019年3月期 (37期)配当金額	2020年3月期 (38期)配当金額
中間配当金	0.00円	0.0円
期末配当金	3.00円	0.0円
年間配当金	3.00円	0.0円
配当性向	-	-

新型コロナウイルス感染症拡大 に伴う当社の対応

自粛要請に応じた休業と新たな安全対策の制定

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各地での緊急事態宣言に伴い、お客様ならびに従業員の健康と安全確保、感染拡大防止への社会的責任を第一に考え、4月から5月にかけてレストランおよび一部のホテルを臨時休業いたしました。

営業再開に向けては、「新しい生活様式」を踏まえ、お客様に安心しご来店いただくための新たな安全基準「Hiramatsuスタンダード」を制定。「衛生管理」、「ソーシャルディスタンス」、「換気」の3つの視点において、お客様をお迎えする環境や従業員の行動基準を細かく定めたものとなります。

＜業界初となるエアバスターの導入＞

営業再開に向けて、飲食・サービス業界では初となるオゾン除菌脱臭器エアバスターを当社すべてのレストラン・カフェ・ホテルに導入。

エアバスターは、浮遊しているウイルスだけでなく、テーブルや椅子などに付着したウイルスも、オゾンの強力な酸化作用で分解し、その特性により耐性菌を発生させないという特長を持った除菌脱臭器。安定した濃度でオゾンが発生させるため、安全濃度での運転が可能。空気清浄機との比較試験においてもその高い効果が実証され、同等機種含め、東京消防庁を初めとする全国500台以上の救急車にも搭載されています。またオゾンが新型コロナウイルスにも有効であるということが日本の研究グループにより明らかになりました。エアバスターの導入により、感染症拡大リスクを低減させ、お客様ならびに従業員にとって安心して過ごせる環境づくりを推進してまいります。



「Hiramatsuスタンダード」を徹底して取り組む体制を整え、5月22日にモデル店舗として「レストランひらまつレゼルヴ」をオープンし、順次、営業を再開してまいります。

「Hiramatsuスタンダード」の具体的な内容紹介

当社従業員向けの細かなマニュアルのみならず、お客様に「Hiramatsuスタンダード」の取り組みを視覚的にもわかりやすくご理解いただくため、ピクトグラムを用いた説明をホームページおよび店内にて掲示し、安全対策へのご協力をお願いしてまいります。

＜主だった取組みの一例＞



館内消毒

消毒液にて1時間に1回を目安に多くの方が触れる館内共用部の消毒を行っております。



テーブル・椅子の消毒

消毒液にてお客様の利用毎にテーブル・椅子・荷物置き等、多くの方が触れる共有部の消毒を行っております。



テーブル・ディスタンス

他のお客様との距離を保つためにテーブル数を減らし、各テーブルの間隔を2m以上開けております。



配席・ディスタンス

同じテーブル内でお客様同士が接近すぎないために、スペースを開けて配席しております。



マスクの着用

お客様の安全及び公衆衛生を考慮し、出退勤時や勤務中はマスクを着用いたします。



従業員の衛生講習会

新型コロナウイルス感染症や食の安全に関する知識を高めるため、専門家による講習会を開催いたします。



来店人数の調整

リスクをできる限り低減するため、予約人数の制限や入店時間の分散化を実施しております。



体調確認のお願い

発熱や咳など体調がすぐれない方には、ご来店をお控えいただく場合がございます。

当社オリジナルで制作したピクトグラムは全30種。業界再興のため、すべての素材の無償提供を予定しています。

免責事項

本資料に記載されている事項は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に記載されている、株式会社ひらまつグループの現在の計画、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定要素を含んでおります。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

最終的な投資決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。